

NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会 平成 27（2015）年度 活動報告

車いす輸送事業

①海外へ送り届けた車いす

本年度は、102 台の車いすを届けました。個人旅行の方だけでなく、団体旅行の方、修学旅行生など、幅広い年代の旅行者の方に車いすを運んでいただきました。JICA「世界の笑顔のために」プログラムへの協力や、東京のさいとう工房を通じて、多くの車いすが届きました。活動を開始した 1998 年から 2015 年 3 月末までに、78 カ国へ 2,571 台の車いすを届けました。



インドネシア・バリ島



ザンビア



ケニア

②提供された車いす

本年度は、個人・福祉施設から 53 台を提供していただきました。リピーターの方や団体も多いです。いただいた車いすはサイズや用途が合うものから順に、海外へ運ばれています。

③車いす整備

整備ボラは、毎週火曜日に定例の整備活動を行いました。また、CSR（企業の社会貢献）活動として NEC フィールディングの皆さんが月一回の整備を行いました。さらに、北星学園女子高校、清田高校の生徒たちが、自ら車いすを整備してカンボジアやマレーシアに運びました。

A. 広報事業

①会報・インターネット

当会の広報活動として、会報誌「とべとべ」を年 3 回（65 号～67 号）製作・発行しました。また、ホームページ、ブログ、Facebook を活用し、イベントの情報を発信したり、日々の活動の様子をお知らせしたりと、幅広く情報発信してきました。

②講演活動

「飛んでけ」の講演活動では、活動の紹介のみならず、海外の福祉事情の紹介や障がい者の生活などを、幅広い視点から伝えています。本年度は、北星学園短期大学部英文学科、北星学園女子高校で講演する機会がありました。

③マスコミ

今年度は、NHK テレビ、STV テレビ、北海道新聞（2回）、読売新聞、東京新聞などで、活動が取り上げられました。雑誌にも2度掲載されました。

B. その他報告

①ネパール支援プロジェクト

2015年4-5月に大きな地震が起こり負傷者22,300人を出したネパールに、車いすを送るプロジェクトを後期に立ち上げ、「プロジェクト委員会」を3回開催し、チャリティ・カレーパーティーなどを行いました。車いすは24台届け、募金も150,642円集まりました。

②整備倉庫の事務所統合

桑園の札通倉庫が解体になるため、4/26に整備チームが引っ越しをして、念願だった、事務所と倉庫の一体が実現しました。車いすの選択が容易にでき、事務局スタッフと整備チームがコミュニケーションをとりやすくなりました。

③カレンダープロジェクト

多くの企業・団体や会員の皆様のご協力のもと、地下歩行空間にてリサイクル販売会を行いました。今年度5回目となった本事業は恒例となり、多くの市民の方にカレンダーを購入していただきました。12月26日（土）に実施しました。

④国際理解イベント

6月に「タイ・デー」9月に「フィリピンを知ろう」2016年3月に「バングラデシュってなかに」イベントを事務所で開催し、留学生によるその国の歴史や文化のお話や、車いすを持って行った体験談などを聞き、料理やお茶、お菓子を通して食文化も楽しみました。3つの企画で、計56名の参加がありました。

⑤整備関係イベント

7月に「身近な車いす整備体験」8月に「子ども車いす体験」9月に「エルプラまつり」12月に「まちなか車いす試乗」などのイベントを開催し、多くの方に車いすの整備や、実際に乗ってみるといふ体験をしてもらいました。

⑥2015年度参加イベント

12月に、北海道NGOネットワーク協議会主催の「国際協力フェスタ2015」に参加して、ブースでの活動紹介、世界各国のお土産品の販売等を行いました。また、6月に「フェアトレードフェスタ」にも参加しました。

⑦黄色レシートキャンペーン

毎月11日の黄色レシートキャンペーンに参加。イオン桑園店店頭にて声掛けを行いました。59,100円分の利用券になりました。

⑧読売福祉文化賞

12月に、長年の活動に対して「読売福祉文化賞」をいただきました。